※令和４年度以降入学生用

学校番号	217

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　改訂　新生物基礎　（第一学習社）						
副教材等	改訂　ネオパルノート　生物基礎　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

小・中学校での学習内容を踏まえ、生物と自然に関する学びを深めていきます。授業で学んだことをすぐに復習する習慣をつけ、日常的に教科書やプリント教材などをしっかりと活用して下さい。日頃から、身の回りの生物や生命現象に関心をもつことで、新たな気づきにつなげて欲しいと思います。

２　学習の到達目標

（１）日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
（２）観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
（３）生物とその生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・生物や生命現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。 ・生物に関する観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、その過程や結果を的確に記録、整理し、現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	・生物や生物現象の中に、自ら疑問を見いだし、積極的に探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	・日常生活や社会との関連を意識しながら自発的、意欲的に学習・探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	生物の特徴	・生物の多様性と共通性 ・エネルギーと代謝 ・呼吸と光合成	a:生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解し、知識を身に付けている。ＤＮＡの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解し、知識を身に付けている。 b:体細胞分裂の前後で遺伝情報の同一性が保たれていることを考察し、導き出した考えを表現している。 c:生物の多様性と共通性、遺伝現象とＤＮＡに関心を持ち、意欲的に探究しようとする。	・定期考査 ・小テスト、レポート課題等 ・実験	・定期考査 ・実験、グループワーク等 ・レポート課題等	・学習状況の観察 ・提出物等の記述
	遺伝子とその働き	・遺伝周期とDNA ・遺伝情報の複製と分配 ・遺伝情報の発現				
2	ヒトの体内環境の維持	・体内での情報伝達と調節 ・体内環境の維持のしくみ ・免疫のはたらき	a:体内環境の維持に自律神経系とホルモンが関わっていることを理解し、知識を身に付けている。また、生物の体内環境の維持に関する探究活動を行い、生物学的に探究する方法を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 b:病原菌などの異物を認識、排除して体内環境を保つ仕組みを考察し、導き出した考えを表現している。 c:体内環境や免疫機構について関心をもち、意欲的に探究しようとする。	・定期考査 ・小テスト、レポート課題等 ・実験	・定期考査 ・実験、グループワーク等 ・レポート課題等	・学習状況の観察 ・提出物等の記述
3	生物の多様性と生態系	・植生と遷移 ・植生の分布とバイオーム ・生態系と生物の多様性 ・生態系のバランスと保全	a:地球上には様々な植生がみられ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解し、知識を身に付けている。また、生態系と物質循環について観察、実験、資料収集などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 b:生物の多様性と生態系に関する探究活動を行い、事象や結果を考察し、導き出した考えを表現している。 c:気候とバイオーム、生態系のバランスについて関心をもち、意欲的に探究しようとする。	・定期考査 ・小テスト、レポート課題等 ・実験	・定期考査 ・実験、グループワーク等 ・レポート課題等	・学習状況の観察 ・提出物等の記述

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度